

を推進していきます!

災害時の備えを再確認!

「いざ」という時のために、
家族で災害時の行動や備えについて話し合っておきましょう。

避難行動を確認!

洪水や土砂災害などの災害リスクを確認できる「熊本市ハザードマップ」を市ホームページに公開しています。身近な人と一緒に自宅や学校、勤務先のほか避難場所までの経路をチェックし、事前に避難行動を決めておきましょう。

地震発生時に身を守るため注意すること

《室内》では、テーブルの下に隠れるなど、最優先で身の安全を守り、火を使用していた際は確実に火を消し、ガスの元栓を閉め、けがを防ぐため靴を履いて避難してください。《屋外》では、ブロック塀や自動販売機などの倒れやすい物から離れ、看板等の落下物に注意し、避難してください。

このほか《車の運転中》や《海岸付近にいる時》など詳しくは、市ホームページで事前に確認し、「慌てず、落ち着いて」行動できるようにしましょう。

ハザード
マップは
こちら



詳しくは
こちら



室内の地震対策

家具が転倒、移動しないように固定すると、危険を減らすことができます。また、家の中に閉じ込められないように家具の向きや配置を工夫したり、窓やガラスに飛散防止フィルムを貼ることも有効です。

「くまもとアプリ」で 避難所受け付け



災害時に避難所で掲示しているQRコードを読み取ることで避難所の受け付けがスムーズに! また、本市からの災害情報も受け取れます。この機会にアプリをダウンロードしましょう。

ダウンロードは、こちらから



最寄りの避難所は、こちらから



定期的に備蓄品をチェック

水は1人1日およそ3ℓ必要です。主食、缶詰やレトルト食品などの主菜、副菜なども備蓄しておきましょう。また、赤ちゃんに必要なミルクや紙オムツのほか、衛生用品などは日頃から多めにストックしておくことで安心です。

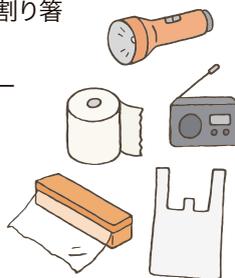
食料品 ※最低3日分(推奨1週間分)を目安に。

- レトルト食品(ごはん・おかゆなど)・アルファ米
- インスタントラーメン・カップみそ汁
- 飲料水



生活用品

- 給水用ポリタンク
- カセットコンロ
- ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
- ラップフィルム
- 紙皿・紙コップ・割り箸
- 簡易トイレ
- 水不要シャンプー
- ビニール袋
- ラジオ
- 工具セット
- ほうき・ちりとり
- 長靴



備蓄の注意点や非常用持ち出し品は
こちらをチェック!



—熊本地震10年の取り組み—

「支えられた日々を、支え合う力に。」

熊本地震から10年の節目に、犠牲となられた方々への追悼と、復旧・復興の歩みの振り返り、そして支えてくださった全ての方々への感謝の想いを込め、以下の基本方針に基づき取り組みを進めます。



各事業の詳細は
こちら



基本方針

犠牲になられた方々への追悼と想いの継承

県と県内市町村との共催により、合同追悼式を開催します。



復旧・復興の歩みの振り返り

熊本博物館や市現代美術館、動植物園等において、地震当時の状況や復旧・復興の歩みを振り返る企画・イベント等を開催します。



未来への教訓等の伝承

九州市長会防災部会等と連携した訓練やTKB48避難所訓練、各区における防災イベントなどを実施します。



支援への感謝と恩返し

復興コンサートの開催や熊本城およびその周辺地域での年間を通じたイベントを開催します。



熊本城の無料開園などの関連イベントについては、20ページをご覧ください。